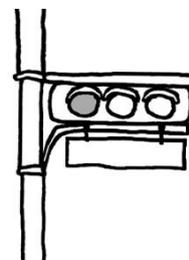


2 わたしたちの願いと政治のはたらき



導入では、施設を利用する人々の思いや願いから学習問題をつくり、学習計画を立てました。そして、政治の力を借りて、どのように解決をしていくかということについて学習問題を追究していきました。

前単元で学習した日本の政治を基に、教科書で取り扱っている東京都足立区の住区センターだけでなく、倉敷市のことや本校の建て替えのことを教材に取り入れ、学習を行いました。

まず、倉敷市では人々の願いの解決がどのように行われているか調べ、実際の仕事は市役所が行っていること、また、その予算や条例整備などは市議会が担っていることなどを学習しました。その際、人々の願いは選挙によって選ばれた議員が代表になって実現していこうと活動していること、さらに、実際の政治には多くの税金が使われていることについて理解を深めました。

単元の終末では、それまでの学習を振り返り、学習問題について話し合うだけでなく、税務署の方から具体的な話を聞く時間を計画しました。しかし、緊急事態宣言が出たこともあり、残念ながら実現することができませんでした。代わりに、担任が税務署の方の指導を受け児童に授業を行いました。



日本の税金の種類の多さや世界の消費税、自分たちに使われている教育費について知り、改めて自分たちの生活とのかかわりに気付きました。そして、国税庁 DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」を視聴し、自分たちと税金のかかわりの大切さを実感し、憲法の「納税の義務」を再確認しました。



学習後の児童の感想

- ・建物以外にも橋や信号機にも税金が使われていることを知り、私たちの生活に欠かせないものだということがわかりました。
- ・小学校6年間では、1人あたり504万円も使われていることを知りました。
- ・税金とは、安全で豊かな暮らしを送るために、みんなで出し合って負担する社会の助け合いのようなものだとわかりました。